

総務省「地域の元気創造有識者会議」御中

「ご参考資料：地域活性化に向けて」

NOMURA



野村アグリプランニング&アドバイザー

取締役社長

西澤 隆

NAPA
NOMURA Agri Planning & Advisory

＜今までの標準世帯＞



世帯数の減少と単身世帯の増加

＜今後の標準世帯＞



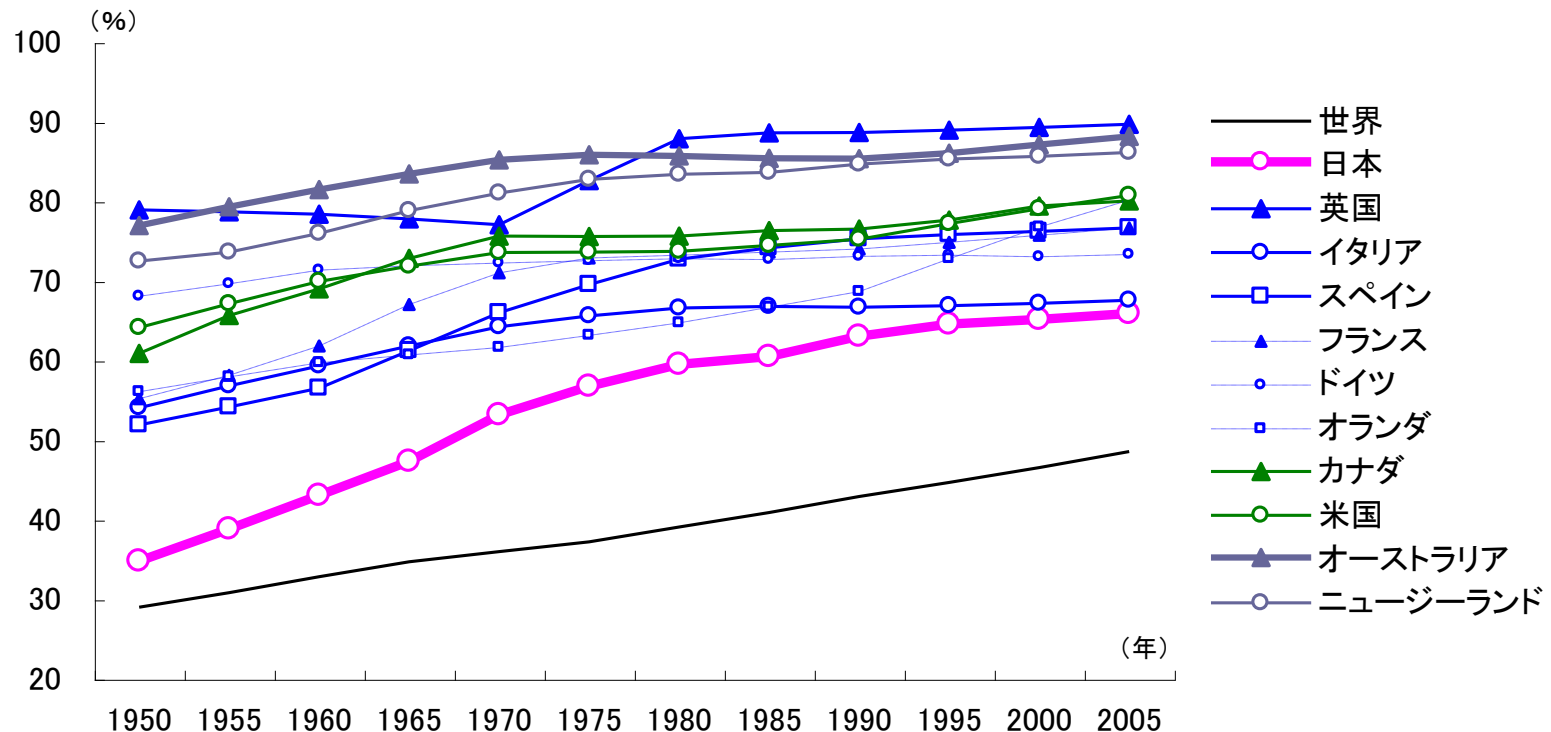
世帯類型の構成比
(構成比: %)

	2000年	2010年	2020年
単独	27.6	27.9	29.7
（うち65歳以上）	6.5	8.8	11.0
夫婦のみ	18.9	21.5	21.9
（うち65歳以上）	8.2	10.4	12.0
夫婦と子	31.9	29.0	26.7

50%超える

（出所）2000年までは総務省「国勢調査」、
2010年以降は国立社会保障・人口
問題研究所より野村證券金融経済
研究所作成

都市人口比率の国際比較

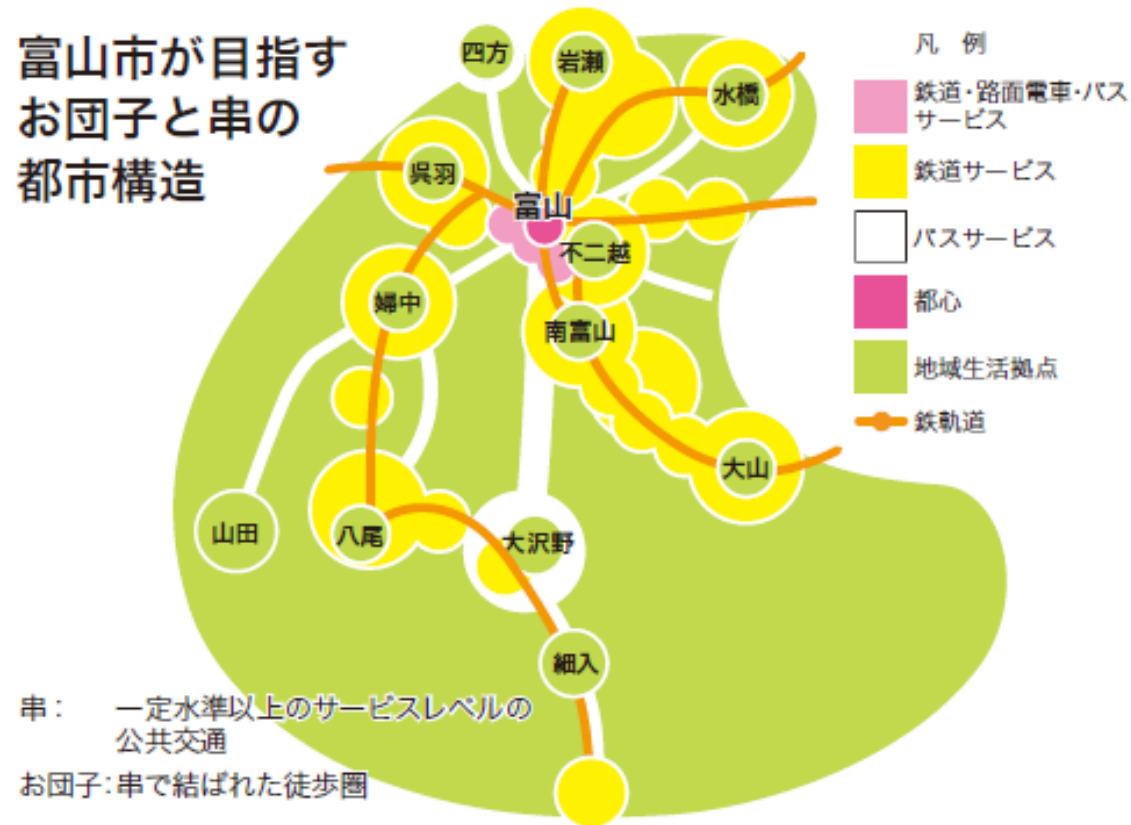


(注) 都市に住む人口の比率。都市の定義は各国による。日本については、人口集中地区。人口集中地区は、人口密度が1平方キロメートル当たり4000人以上の基本調査単位区等が市区町村の境界内で互いに隣接して、それらの隣接した地域の人口が調査時点で5000人以上を有する地域。

(出所) 国際連合より野村證券金融経済研究所作成

- 環境に優しい
- サービス業の生産性の向上
- 財政効率の向上

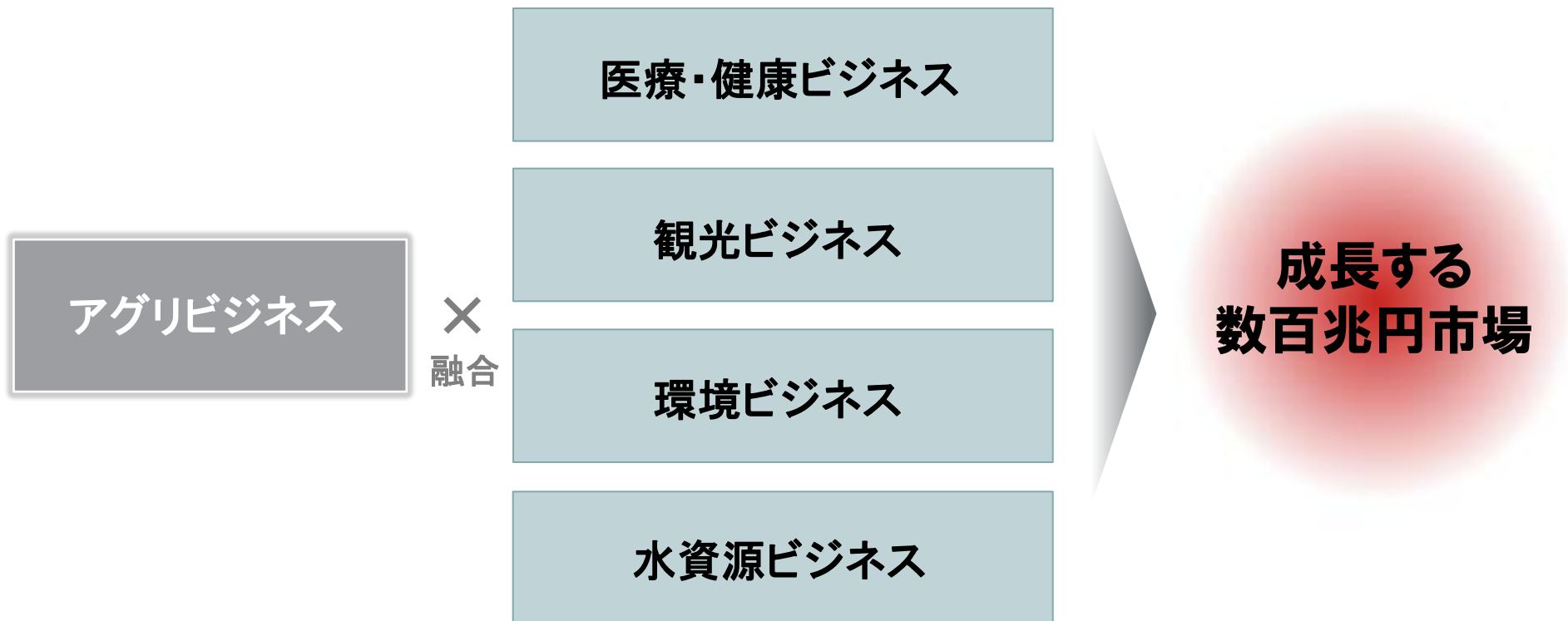
富山市のコンパクトシティ概念図



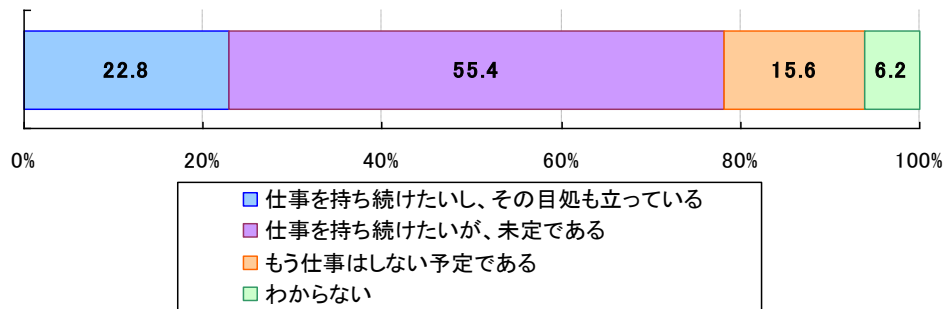
(出所) 富山市役所資料より引用 (http://www.mintetsu.or.jp/mintetsu/28_p12_13.pdf)

- 工場・企業誘致
- 観光立国(VISIT JAPAN)
- もう一つの方法:逃げない産業を作る

他のビジネスとの融合で、次世代のアグリビジネスを展開

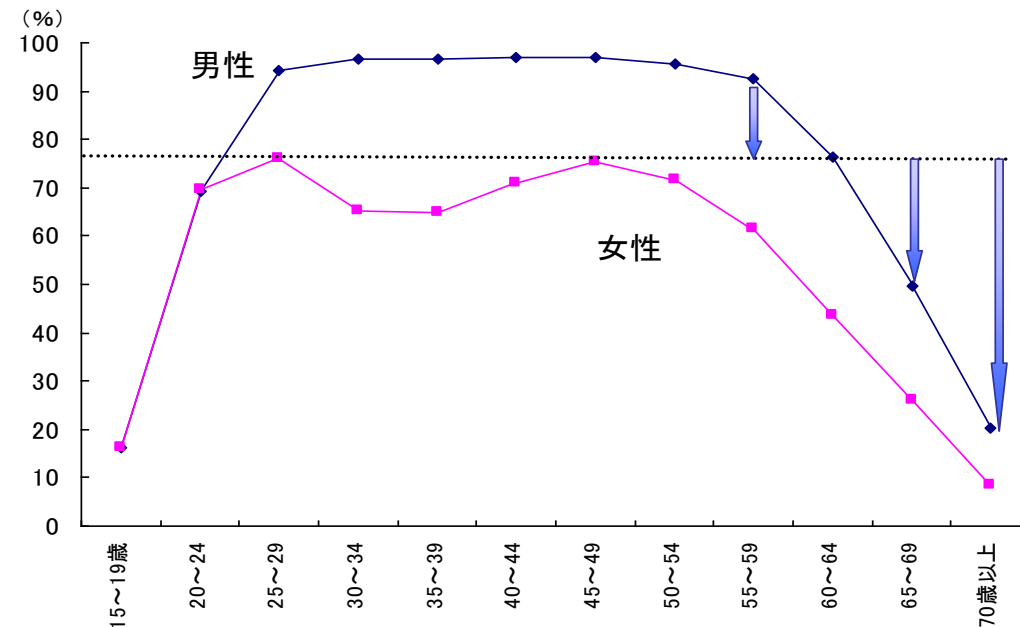


60歳を過ぎても仕事を続けたいか？
(団塊の世代向けアンケート)



(出所) 野村総合研究所「団塊の世代のセカンドライフに関するアンケート調査」(2005年)より野村証券金融経済研究所作成

日本の年齢別労働参加率(2008年)



(出所) 総務省「労働力調査」より野村証券金融経済研究所作成

五十五歳から五十九歳までの男女で、都心から四十キロ圏内に住む持ち家居者に聞いたアンケート

35%が「住み替えたい」「できれば住み替えたい」と回答。住み替え先は「近所」が36・4%で最大。「地方や田舎」が26・4%と意外に多く、「都心部・中心部」が20%で続いている。

男女別では男性が「地方や田舎」で四割を超えたのに対して女性は二割以下。「都心部・中心部」では女性が男性を上回った。

転居先では「分譲一戸建て」が52・1%で「分譲マンション」が40%となった。住み替え前の住居は「持ち家一戸建て」が69・3%、「分譲マンション」は30・7%。「防犯性が高い」「メンテナンスが楽」「機能的」といった理由で、一戸建てからマンションに移りたい意欲の高い。

→ 熱海の復活？

リサーチする

本当に「売り」は野菜や畜産物だけか？民芸品でもなんでもかまわない。洗いざらい調べてみる。

コンセプト・ストーリーを作る

品揃えで勝負か（一村一品運動）、少数精鋭型で勝負か。その商品で何を訴えたいのかを明確にする。味＋目新しさ、意外性など。

地域資源の最大活用

農産物以外にも地域で活用できる資源（土地、会社、寺社、有名人、景観・・・・）は最大限活用する。

如何にPRするか？

大きな枠組みとしては・・・

主に誰で、何処で、何を対象にするのか？

どのような体制で実施するのか？

資金をどのように工面するのか？

・・・ 陥りやすい問題点

コンソーシアムを作っただけで満足してしまう。

大枠の議論に集中し、具体論がでてこない。

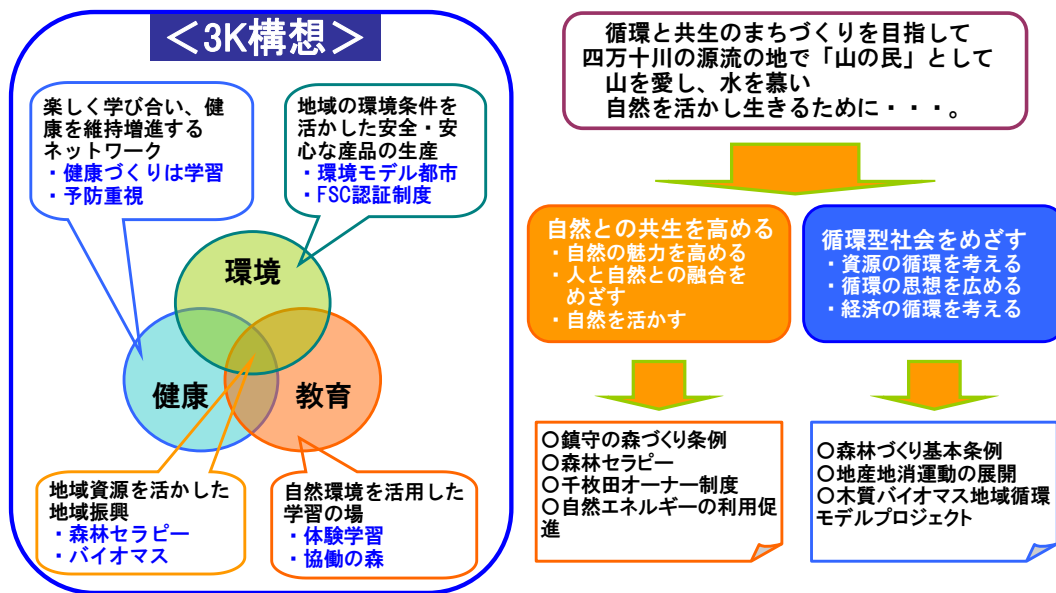
いくつかのテーマを融合し、絞り込み、「事業化」・「成功事例」というキーワードを強く意識することが重要ではないか。「大きな枠組みをつくり、目標を明確化し、その中で小さな成功事例を積み上げる。」

- 1) 風力発電、小規模水力発電、バイオマスなどを用いた環境中立型都市を目指す
- 2) 環境保全と都市との交流を求めて、棚田オーナー制度を創設
- 3) 森林資源を用いた健康・医療分野への進出（森林セラピー）
- 4) 坂本龍馬に関する観光でも需要を取り込む

梶原町の地域づくり

森と水の文化構想<3K構想>

21世紀への基本理念を、先人の知恵に学び自然と共に、共生と循環の社会を実現するため、環境・健康・教育として、住民と共に笑顔あふれる街づくりをめざす。



梶原町の概況（23年3月現在）



同じような取り組み例
としては、北海道の下
川町も有名である

概 要

所在地：和歌山県東牟婁郡
代表者：奥田 貢
設立年月：－
町民数：486名



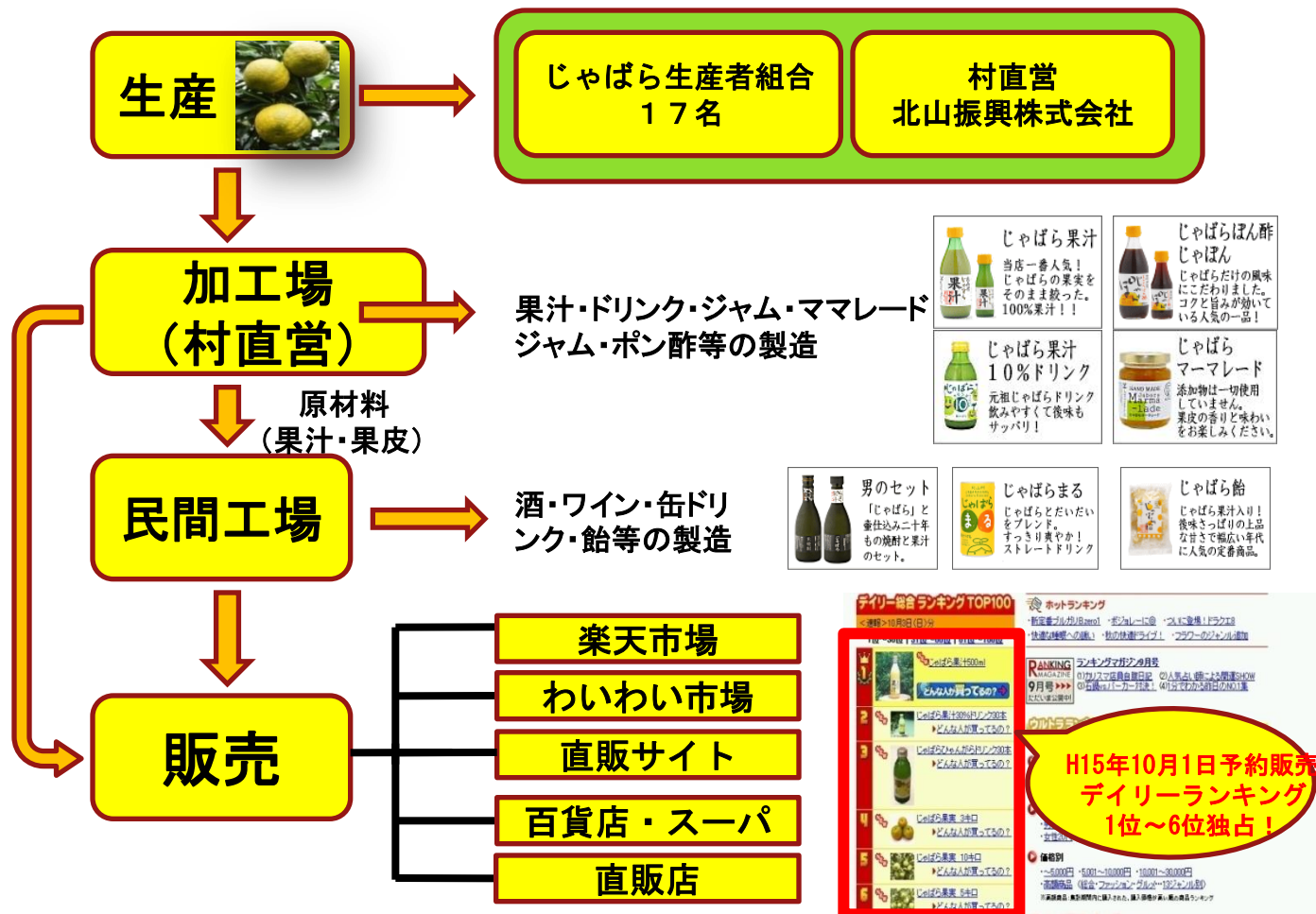
経 緯

- 北山村は全国で唯一の飛び地であり、昔から良質の杉に恵まれ林業で栄えていた。伐採された木材は川を利用して筏によって木材集積地の新宮まで運んでいた。
- 平成の大合併の流れの中で、新宮市との合併も選択肢に挙がっていたが、新宮と合併した場合、消防・救急の対応レベルが今よりも下がってしまうと判断し、独立の道を選んだ。
- 「合併したくてもできない」という気持ちが村にはあり、だからこそ村として生き残ってゆく道を模索する必要があった。
- 1983年に村とじゃばらの原種を保有していた個人が先頭に立ち、パイロット事業で約10haの畑を造成した。
- 1985年10月に村で特産じゃばら振興会を発足し、市場開拓や商品開発を進めてきた。

事業内容

- じゃばらの生産、加工、販売を行っている。じゃばらは元々、北山村に自生していた柑橘であり、原種は日本国内では北山村のみの栽培である。
- 2001年から楽天市場に出展し、急激に販路を拡大することができた。また、じゃばらの花粉症効用調査を実施し、効果があったと公表したところ、取材依頼が舞い込み宣伝効果もあり、売り上げ増に繋がった。
- 2010年度には売上2.75億円まで伸びたが、2011年度は台風の影響もあり、1億円で減ってしまった。2012年度は1.6億円を見込んでいる。

（出所）北山村村長へのインタビューをもとに野村アグリプランニング&アドバイザリー作成



■「山口県安芸郡馬路村」では、「ゆず」を使った地域活性化

(出所)農林水産省:6次産業推進中央支援事業における北山村発表資料より作成

平成12年12月 最後のチャレンジ楽天市場への出店

出店後の取り組み

話題以前からあった噂「じゃばらが花粉症に効果がある」を活用し、1000名を対象としたじゃばらの花粉症効用調査を実施

●村ぶろとは [村ぶろ](#)

○北山村が一般ユーザー向けに提供するブログポータルサイト

○ユーザーは無料で会員登録し、自身のブログを持つことができる。

○村ぶろに会員登録したユーザーを仮想村民「村人」と位置づけ北山村情報を配信

○じゃばらの販売促進に！ [じゃばら村センターわいわい市場店](#)



(出所)農林水産省「6次産業推進中央支援事業」における北山村発表資料より抜粋



(出所) Google マップより



(出所) 川場村観光協会オフィシャルサイトより

人口	3,544人
面積	85.29km ²
高齢者比率	37.6%



(出所) 田園プラザ川場HPより

本レジメは、弊社の取り組み等のご提供を目的としたもので、投資判断の参考となる情報提供や投資勧誘を目的としたものではありません。本レジメのいかなる部分も、一切の権利は野村アグリプランニング&アドバイザーズ株式会社に帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行うことを禁止します。

© Nomura Agri Planning & Advisory Co., Ltd. 2012



(出所)川場村HPより



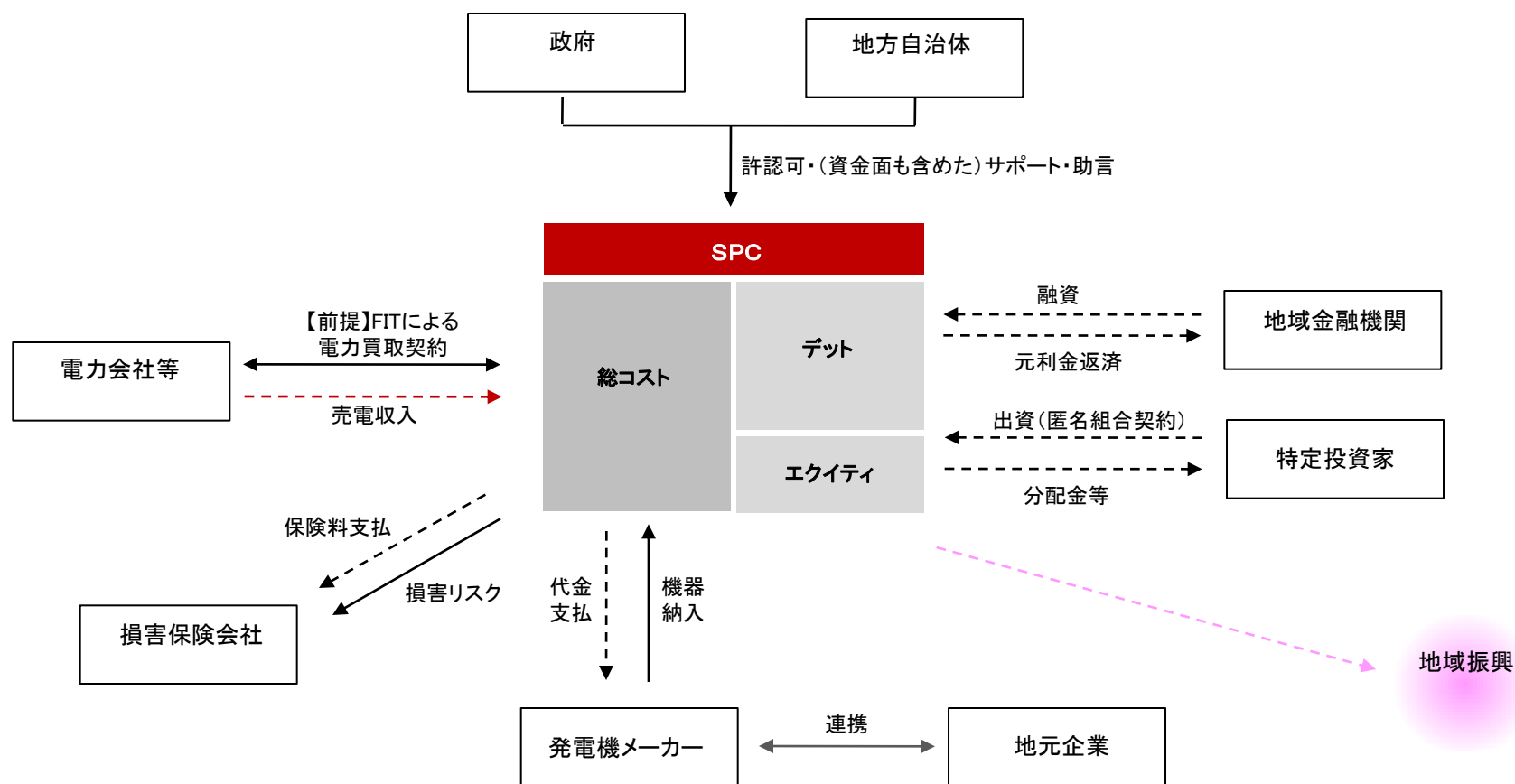
(出所)世田谷区民健康村HPより

本レジメは、弊社の取り組み等のご提供を目的としたもので、投資判断の参考となる情報提供や投資勧誘を目的としたものではありません。本レジメのいかなる部分も、一切の権利は野村アグリプランニング&アドバイザー株式会社に帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行うことを禁止します。

© Nomura Agri Planning & Advisory Co., Ltd. 2012

- 複数の事業会社がコンソーシアム(共同企業体)として、特別目的会社(SPC)を設立し、デット・エクイティの資金を調達します。
- 事業が安定的に黒字化した場合、事業収益の一部を使った農業振興・地域振興策を検討します。(※投資家の意向にも依存)

事業計画、資金調達の全体図



■ 「新結合（イノベーション）」とは

1. 新しい製品の創造
2. 新しい生産方法の取り入れ
3. 新しい販売経路、市場の開拓
4. 原材料と半製品の供給の源の獲得
5. 新しい組織の形成

NAPA

NOMURA Agri Planning & Advisory